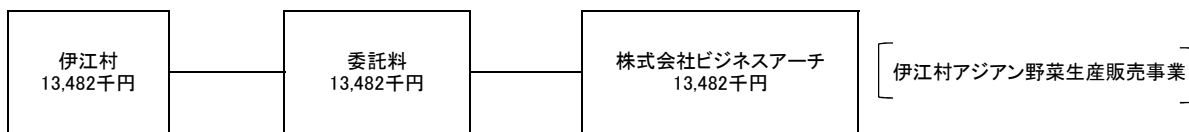


市町村名		伊江村					
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 伊江村アジア野菜生産販売事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ウ		
	農林水産課		事業実施(予定)年度	平成27~29年度	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(6)		
事業内容	村内で生産されたアジア野菜を首都圏を中心とした外食や小売業態の販売連携先と物流・商流の体制を構築するため、平成28年度までの調査による栽培マニュアルの検証を引き続き行い、強化型パイプハウスで栽培した選定品目の肥培管理や試験出荷を行う。また、今後の生産・販売計画を策定し、受発注業務体制の構築、調理レシピや加工商品の開発などを行い、本事業の本格稼働と経営の安定化を目指す。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(H30年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	22,000	14,000		
		(b) 予算現額	10,000	22,000	13,483		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 517		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	10,000	22,000	13,483		
	B. 執行済額		9,918	19,704	13,482		
	うち交付金充当額		7,934	15,763	10,786		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.2%	89.6%	100.0%		
予算の状況の説明		委託業務においては公募型プロポーザル方式で受託業者を選定し、予算の範囲内で事業提案内容通りに適正に執行した。減額分については当初予算額と契約額の差額分を減額したものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	専門家による生産販売調査業務	目標	(生産・販売計画の策定)	()	()	()	
		実績	生産・販売計画を策定済				
	選定品目の栽培マニュアルに関する肥培管理法の検証及び農家への普及	目標	(肥培管理の指導 栽培手法の確立)	()	()	()	
		実績	肥培管理を指導済 栽培手法を確立済				
	販売先ごとの青果生産計画と試験出荷	目標	(選定品目の試験出荷)	()	()	()	
		実績	選定品目を試験出荷済				
	調理レシピ、加工商品の企画整理	目標	(調理レシピの開発、加工商品の試験製造)	()	()	()	
		実績	調理レシピを開発済、加工商品を試験製造済				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 専門家による生産販売調査業務においては、農家毎に栽培計画や目標出荷日量などを設定して管理した。また、県内スーパーの総菜向け青果やスーパー棚売りの青果試験販売、加工用品の原材料供給を想定した出荷体制などを構築した。 農家に対して肥培管理の指導や試験出荷を通して、高温期の栽培手法の確立や栽培施設の条件確認、作物毎の病害虫対策を行うことができた。 昨年度に導入した強化型パイプハウスで試験栽培を行っている選定品目(青パパイア、ガバオ、ホーラバーなど)を、村民に広く紹介し関心を持ってもらおうと現地見学会を実施し、栽培を希望する農家を募った。 野菜が生産過剰になった場合などを考慮し、話題性やニーズのある加工商品の企画・整理や試験製造などを実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(30年度)
	肥培管理を体系化した品目の生産計画を策定し、外食産業や市場向けの生産、販売計画の確立	目標	()	(生産・販売計画の確立)	()	()	()
		実績		生産・販売計画の確立済			
	冷蔵総菜や菓子類の試験品開発	目標	()	(商品の開発)	()	()	()
		実績		商品を開発済			
	新規事業実施会社の設立に向け、村内の事業所に業務移行を実施	目標	()	(新規事業実施会社の設立)	()	()	()
		実績		新規事業実施会社の設立・業務移行準備中			
	【H30成果目標】アジア野菜を活用した加工商品及び菓子類の開発(各1品)	目標					加工商品及び菓子類の開発(各1品)
		実績					加工商品の開発1品 菓子類の開発1品
	進捗状況説明	加工商品については、冷凍野菜やパパイアサラダ用のドレッシングの開発までは行ったが、商品化することはできなかった。また、菓子類については、パクチャーケーキを県内の菓子メーカーを通して製造し、伊江港内の土産店で試験販売を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・加工商品の開発が行われたものの、商品化や販売に至るまでに想定以上の時間を要するため、商品化に向けた十分な調整ができなかった。</p>	<p>・バイヤーや製造メーカーと時間をかけた商品提案等を行う必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・試験販売等を通じて商品の改良を行い、バイヤーや製造メーカーと調整して、販売方法等をしっかり確認し商品化を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,482	13,482	10,786	2,696	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は市場調査業務に精通した業者を公募型プロポーザルで募集し、適正な審査を行い、随意契約とした。</p> <p>○予算規模は事業内容に即した経費配分が行われ、適正な規模であるとする。</p> <p>○費用や用途については事業の目的達成の観点から必要なものに限定され適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	